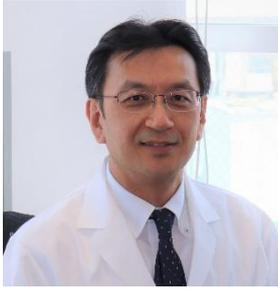


無歯顎者の義歯難症例に向き合う — 動揺制御のために —



井野 智
補綴科・義歯診療部門 教授

以前では難症例と位置付けられた顎堤吸収の大きな下顎無歯顎症例や、多量のフラビーガムを有する上顎無歯顎症例は決して珍しくなく、逆に、有床義歯補綴治療の高度化が求められています。たとえ学部教育で受けた教科書的な知識や術式をきちんと行ったとしても期待した結果、つまり、患者さんに満足してもらえない義歯を入れることができないことも多いようです。補綴学会としても『有床義歯補綴診療のガイドライン』『全部床義歯に関する統一見解』を発信していますが、これらを理解しても臨床経験の豊富さに関係なく対応に苦慮することが多いのが現状です。いわゆる難症例といわれる無歯顎患者の症例は、上顎と下顎をそれぞれの模型のように別々に捉えるのではなく、一口腔（一患者）としてのダイナミックな機能を満たすためにどう対応すればよいかを殊更に考える必要があります。そこで本講演では、あらためて基礎知識として必要な口腔周囲組織の解剖学的構造や顎堤粘膜の病態の診方を振り返るとともに、印象法・咬合平面の設定に必要な技術的アレンジについて、エビデンスを交えながらご提示し、明日からの臨床に少しでも役立てていただければ幸いです。

【略 歴】

- 1989年 3月 神奈川歯科大学卒業
- 1993年 3月 同大・大学院修了（総義歯補綴学 専攻）
- 1993年 4月 同大・補綴学第3講座 助手
- 1997年 7月～1998年 8月 ミュンヘン大学歯学部 特別研究員（海外派遣）
- 2003年 11月 同大・歯科補綴学 講師
- 2008年 4月 同大・有床義歯補綴学 准教授
- 2012年 4月 同大・横浜クリニック 院長（～2020年3月）、同大・法人理事（現在に至る）
- 2017年 10月 同大・大学院 補綴領域 教授（～2021年3月）
- 2020年 4月 同大・附属病院 病院長（現在に至る）
- 2021年 4月 同大・有床義歯補綴学 教授（教員組織改編）（現在に至る）

*主な所属学会等

- 公益社団法人日本補綴歯学会 補綴歯科専門医・指導医
- 一般社団法人日本接着歯学会 接着歯科治療専門医・指導医